

加工食品の物価及び生産・販売動向

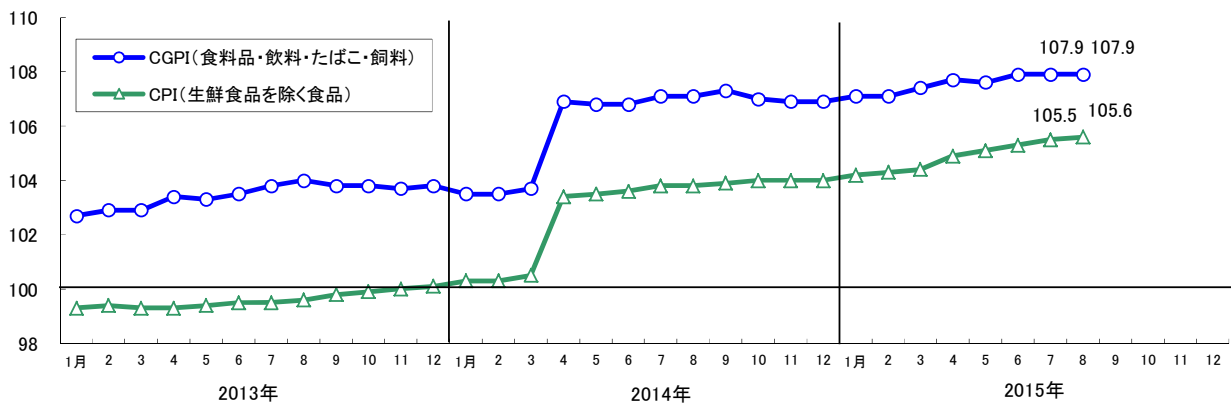
1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価及び消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、2014年4月からの消費税引き上げにより上昇し、107.9と高水準で推移している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食品）は同105.6で、企業物価指数と同様に上昇基調となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数

2010年=100



資料:日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

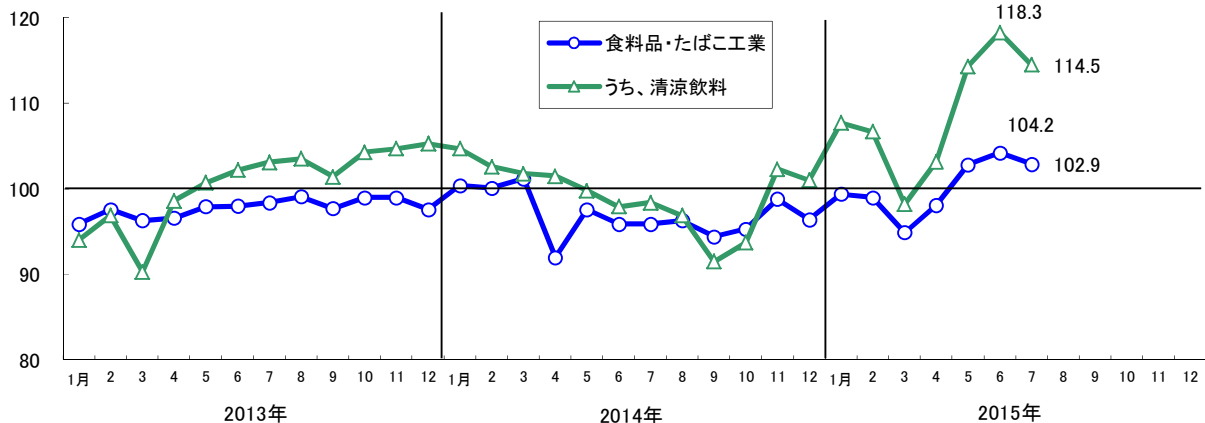
2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比でわずかに低下、うち、清涼飲料は同やや低下

7月の食料品・たばこ工業の生産指数は、102.9で前月比▲1.2%とわずかに低下となった。うち、清涼飲料は114.5で前月比▲3.2%とやや低下となった。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移

2010年=100 季節調整済



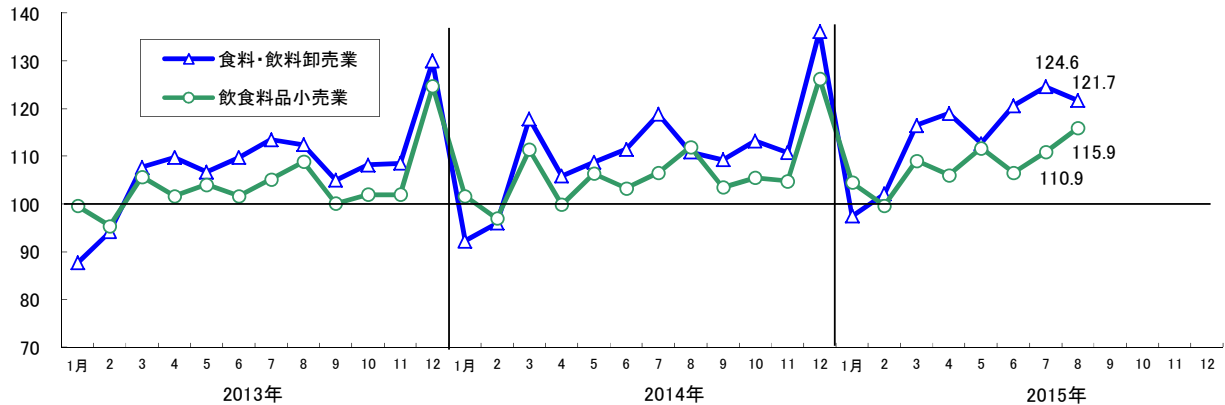
資料:経済産業省「鉱工業生産指数」

3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でかなりの程度増加、小売業販売額は同やや増加

2015年8月の食料・飲料卸売業の販売額指数は121.7で対前年同月比9.7%とかなりの程度増加した。飲食料品小売業の販売額指数は115.9で同3.5%とやや増加した。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向



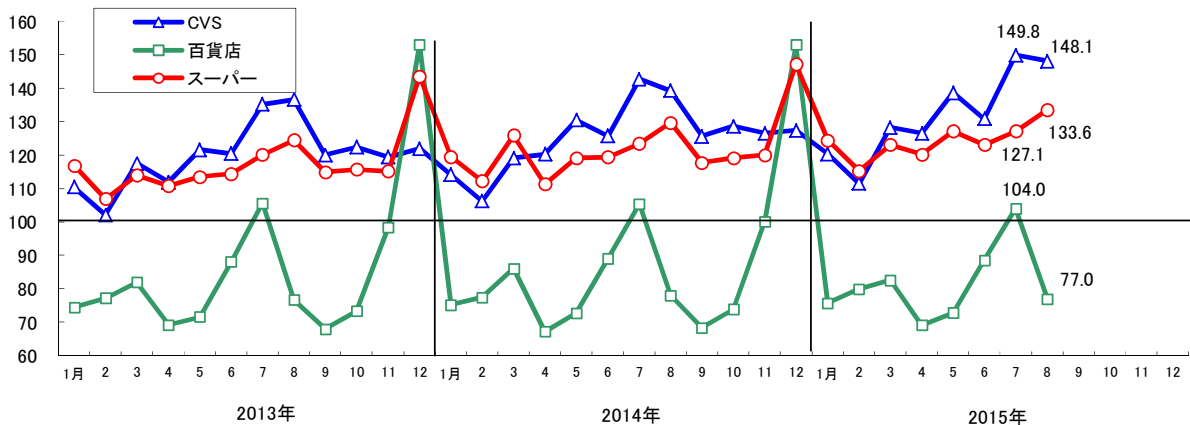
資料: 経済産業省「商業販売統計」

4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVSは対前年同月比でかなりの程度増加、スーパーは同やや増加、百貨店は同わずかに減少

2015年8月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは148.1で対前年同月比6.4%とかなりの程度増加、スーパーは133.6で前年同月比3.0%とやや増加、百貨店は77.0で前年同月比▲1.4%とわずかに減少で、コンビニエンスストア、スーパーは堅調に推移している。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向



資料: 経済産業省「商業販売統計」

注: コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。